

安全で  
安心な

地下水を使って

水道料金の削減

+

ライフラインの確保

# 「地下水活用システム」で実現

地下深く、経費削減の解決策が眠っています。  
お支払いの水道料金をご存じですか？

年間の水道料金を1,000万円以上お支払いになっている場合は、  
地下水活用システムの導入で水道料金の削減を図ります。  
初期投資ゼロのシェアード契約（レンタル契約）も提案します。

## システムの概要

- 敷地内に深さ 100m 程度の深井戸を掘り、そこから揚水した地下水を浄水装置を通して飲用可能なレベルまで浄化し、水道水と混合して使用する事により**水道料金の削減**を図ります。
- 浄化した井水は**水道法 51 項目の水質基準を完全にクリア**するのはもとより、飲料水を扱う設備であるため、「安全の上にも安全を」を基本方針として十分な余裕を持った設備とします。  
同時にこの浄化水を長年にわたって使用する設備機器に対しても問題がない水質とします。
- 浄化水質の安全性およびシステムの信頼性を確保するため、専用回線を利用した **24 時間遠隔監視システム**を標準装備とします。また装置停止の際には**自動で上水道ラインに切り替わり**、断水、濁水が生じないシステムとします。
- 井戸および浄水装置は**法規制および地域の条例に対応**した設備とします。
- 災害時において上水道が断水した時に飲料水としての給水が可能になります。

## 優れた経済効果

地下水活用システムは、現在給水している水道水の80%以上を地下水浄化水に切り替え、水道料金の削減を実現します。

■ 標準地下水供給量：地下水80%、上水購入20%の場合（参考例）

現 状	水道料金 100%			
シェアード契約 (レンタル契約)	水道料金 20%	給水サービス料金 45%	維持管理費 10%	経済効果 25%
ギャランティード契約 (買取り)	水道料金 20%	設備リース料金 減価償却費 25%	メンテナンス 15%	維持管理費 10%
				経済効果 30%

注) 維持管理費=電気料金+下水道料金

# 万全の保守体制

定期点検はもとより、万一の事態にも24時間遠隔監視システムの標準採用により速やかに対応いたします。また緊急時には、自動回避システムにより装置の稼働が完全停止すると同時に自動的に必要な水道水が供給されますので、渇水の懸念がありません。

専用回線で  
24時間状況を監視。  
緊急時には自動回避動作も。

お客様



24H

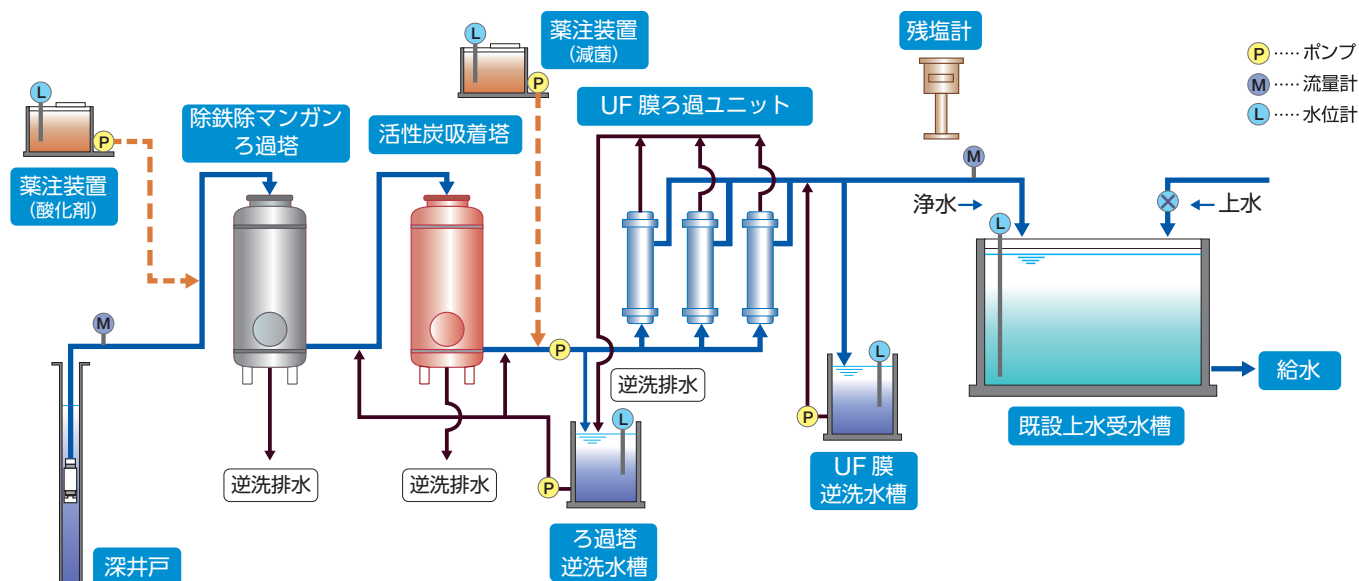
トータル

定期点検  
一般メンテナンス  
緊急メンテナンス

# 高い安全性

地下水の浄化処理には地下水の水質により、最新式の限外ろ過膜（UF膜）あるいは逆浸透膜（RO膜）を採用。これらの高度膜を採用する事により、水道法および食品衛生法に規定されている法定水質をクリアすることはもちろん、有害な原虫や細菌、ウイルスまで除去します。

## ■ 地下水活用システム標準フロー図（UF膜仕様）



## ■ 適用事例



大学（RO膜仕様）



病院（UF膜仕様）



ショッピングセンター（UF膜仕様）



工場（RO膜仕様）

